

フォントのふしぎ



[フォントのふしぎ_ダウンロード1](#)

著者:[日] 小林章

出版者:美術出版社

出版时间:2011-1-17

装帧:单行本（ソフトカバー）

isbn:9784568504286

高級ブランドのロゴはなぜ高級そうにみえるのか？、

Aの右側の棒はなぜ太いのか？

欧文フォントにまつわる素朴な疑問に答えてくれるトリビアの本。

ドイツ在住の欧文フォントの専門家が、欧米の街中で撮影した写真をもとに、目からウロコのフォントの不思議を語ります。

ガイドを聴きながら海外の街を散歩するように、

フォントについての知識が楽しく身につくよう構成されています。

作者紹介:

小林章，畢業於日本武藏野美術大學視覺傳達設計學科，一九八三年開始在寫研公司設計照排字模（照相排版用的文字設計）的工作。後來深感西洋字體知識的不足，於是毅然辭職，在一九八九年遠赴英國倫敦一年半，學習西洋書法與字體排印學。

一九九八年和二零零零年，兩度獲得世界大型字體比賽首賞，因而於二零零一年春天，被招聘至德國Linotype公司擔任字體設計總監。目前主要工作是字體設計的製作監督、品質控管、以及新字體的企劃等等，也與Hermann Zapf、Adrian Frutiger等知名字體設計大師共事，著手進行多款字體名作的改良。

著作有《西洋字體：字體的背景和使用方法》、《西洋字體2：常規字體和表現方法》。

譯者

葉忠宜，筆名Tamago。1982年生。2007年赴日學習平面設計與藝術攝影。2012年畢業於京都造形藝術大學研究所，攻讀藝術研究科藝術表現領域。同年首次發表攝影作品而邀展（Raidcal Show 2012）於澀谷Hikarie 8/ Art Gallery。目前從事Typography相關著作翻譯與研究。

目録: 第一章：高級ブランドはなぜ高級そうに見える？

ゴディバのロゴの変遷

ディーン&デルーカやピエール・マルコリーニの王道感

ファッションブランドのロゴ

ダイソンの使っている書体はほか

第二章：ヨーロッパの街をつくっているフォント

ルーブル美術館が使っているフォント

フランスっぽい筆記体

味のある文字・イギリス

消えつつあるドイツ文字 ほか

第三章：フォントは見た目で選んでOK

インストール済みのフォントってタダなの？

フォントは見た目で選んでOK

フォントの選び方を間違えると命取りか？

タイプライターっぽさの演出効果

第四章：意外と知らない文字と記号の話

目の錯覚

Aの右側が太いワケ

Uって昔はなかった？

識別しやすいFrutigerの数字 ほか
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[フォントのふしぎ_ダウンロード1](#)

标签

设计

小林章

字体

设计随笔

フォント

评论

台版的翻译让人捉急

内容编排颇有层次感的轻松专业书。层进不失节奏。起初易误为高级字体推荐册、实则是字体痴心郎带你用心观以字构成的世间、并孜孜述其「构成」法门、言语中多见对己“业”的爱、Book中知一片真到入痴之心、去求设计的纯粹。无论是否设计专业、都是值得一观以体味这份严谨职人态度的书。（2017.3.12_阅读完成_于东京）

[フォントのふしぎ_ダウンロード1](#)

书评

看下来确实体会到小林章是这个领域的专家。。。走在路上看看路上的字就知道是什么字体简直不能想象。。。虽然写的比较碎，但信息量也不少。。。一边看一边做笔记。。。不过台湾这些翻译书的，把中文撙直了写出来就有那么难吗？翻译台湾腔太重，读下来恍惚有种小林章是个台湾...

[フォントのふしぎ_下载链接1](#)